［百年物語・2018　戊2年モデル］　開発テーマ

開発テーマ	**持つ喜び、使う喜び、彩る喜び　2018//次なる質的価値へ**
テーマの考え方	百年物語・フランクフルトメッセ出展2005～2017の動向分析に基づいて ◎ 商品の動向＝加飾性×文化→個人の買いたい価値づくり＝意味・物語性・文化 ◎ モノを持つ・使う価値の再構築＝社会と生活の激変の中で、次なる付加価値（質）を探している。 ◎ 具体的には ★持つ喜び＝心の価値を再構築＝形・感性の自由さ、色彩の多様性。 ★使う喜び＝体（五感）の楽しさの再発見＝手触り・目触り・素材感覚の重視。皮膚感覚。 ★彩る喜び＝日々の楽しみ・次代の可能性・自分らしい生活を大切に ＝文化と物語性の魅力、自然を身近に・共生、次代機能の導入。
2017messeの 動向	1) 素材感覚の重視 2) 色彩の多様性 3) 自然を身近に・共生 4) 機能の次代性 5) 文化と物語性の魅力 6) 形・感性の自由さ 7) 皮膚感覚の復活

テーマ	道具の持つ、質的価値とは	実現するための視点
次なる 質的価値 01 ★持つ 喜び	★心が納得---所有欲、コレクション、感性にフィット、 自分らしさ、表現、魅力の情報化・発信力、 モノの文化や物語性、異文化の体験 ★目が納得---カタチ感性、空間との合致、 プロポーション、色	美しさ・感性の追求 ◎自社の道具デザイン感性の 独自性、わくわく感を強化。 ◎自社と道具の持つ文化や 歴史、物語性の商品化。 ◎和文化・異文化の「コト」を 体験化する道具づくり。 ◎道具が生活装飾となる デザインへ。
次なる 質的価値 02 ★使う 喜び	★手が納得---手触り、温かさ・冷たさ、操作しやすさ、 持ち重り、振動、クリック感、サイズ感、 フィット感、硬さと軟らかさの楽しみ ★耳が納得---クリック音、加工や調理状況の音化 ★目が納得---素材感、認知性、文様、 変形や擬態の楽しさ、目で分かる機能 ★舌や鼻が納得---味覚や香りの楽しさを高める調理や食事 ★体が納得---肌触り、鍛錬や習熟感、新しい遊び	五感機能の追求 ◎五感を楽しませる・育てる道具 ◎道具の手触りや肌触りが 心地よい道具。 ◎音が気持ちよい道具。 ◎見て楽しい道具。 ◎つくって、食べて、おいしい道具 ◎使うたびに、上達する道具。 体と感覚を育てる道具。
次なる 質的価値 03 ★彩る 喜び	★生活のハレを楽しむ---正月、桃の節句、 ★変化を楽しむ---ハローウィン、Xmas ★一瞬を楽しむ---花見、月見、花火 ★交流を楽しむ---バレンタイン、盆踊り、よさこい、SNS ★自分らしい日々・時間の過ごし方 ---ヨガ、ダンス、禅、自分食スタイル、	意味・物語の自分化提案 ◎文化・異文化を取り入れる、 楽しむ道具。 ◎四季や歳時記など 時間を楽しむ道具 ◎光や影、風や水を感じる ・楽しむ道具 ◎自分の変化を楽しむ道具

「私」の

心・体・生活に

新鮮・感動

・共感

↓

次代の質的価値

の

創造と提案

↓

2018 百年物語